

「延世大学校スプリングスクール参加報告書」

京都大学経済学部・1年 森脇 友里恵

今回、延世大学校の語学堂で約三週間勉強しました。私が入らせていただいたクラスには日本人はおらず、ロシア人やマレーシア人、モンゴル人など、多種多様な文化背景を持つクラスメイト達と交流することができました。韓国に滞在する外国人であるという共通点からか、クラスメイトは皆仲が良く、韓国語をあまり話せない私を、授業でも、授業外にもたくさん助けてくれました。一緒に昼食を食べたり、休み時間にふざけたり、話をしたりと、仲良くしてもらい、最終日は彼らと別れるのが本当に辛かったです。彼らともっと話をするために、韓国語の勉強をもっと熱心にしようという意欲がわきました。延世大学のバディさんたちもとても親切で、韓国語や韓国での生活のサポートをしてくれました。バディさんたちと交流できる食事会も頻繁に開いていただいたので、多くのバディさんと交流できました。私は、高校の時に短期留学をしたのですが、その際には食事や文化にあまり馴染めず、緊張して交流もあまりできませんでした。その時に、言葉も文化も異なる人々と交流して、友達になるのはとても難しいことだと感じましたが、今回のプログラムで、言葉も文化も違っても親しみを感じ、友達になれるのだと心から思えました。また、クラスメイトが自国の文化や慣習についてよく話してくれ、それまであまり知識がなかった国についても興味を持ち、将来は様々な国の人々と関わりたいという思いが強くなりました。

韓国では、できるだけ韓国語を上達させようと、物を購入する際には一人でするようにしました。全く分からなかったこともありましたが、プログラムの最後の方には、私が購入しようとしていた商品と違うものを購入しそうになったとき、韓国語で説明することができました。

授業は、韓国語の筆記、リスニング、スピーキングをバランスよく鍛えることのできるようなシステムでした。先生は生徒との会話を重視し、生徒もまた、自分から積極的に話そうとしていました。私は最初のうちは全く聞き取れず、話すこともままなりませんでしたが、しかし、韓国語が分からない時はクラスメイトが英語で説明してくれ、先生に特に気を付けて教えていただいたので、何回か授業を受けるうちに、先生やクラスメイトが言っていることがだんだんと分かるようになり、少しですが韓国語で発言することができるようになりました。授業後には文化体験やソウルツアーなどで、韓国の文化について理解を深めることができました。

韓国で明洞や仁寺洞、江南など多くの場所を訪れました。賑わっている場所では、きれいに着飾った多くの人々がショッピングを楽しんだりしていましたが、一方で、彼らからの施しを受けようとしている人々も少なからずいました。日本ではホームレスと呼ばれることが多いと思います。日本で見かけるのは、駅や公園などで自活する姿ですが、韓国では、自分の体の不自由さを街中でアピールしている姿を多く見かけました。以前、テレビ番組で、ある途上国について紹介していた時に見た姿と似ており、韓国経済の発展にしたがって貧富の格差が広がっているのではないかと感じました。それについての韓国政府の政策などを調べてみたいと思います。また、プログラムを通して、私は外国の文化や慣習に興味があるのだという思いが強くなったので、私の興味がある分野と、専攻である経済学をどのように組み合わせていくか考えようと思います。

선생님, 도와주신 모든 분들, 3주간 정말 감사합니다. 아주 좋은 경험이 되었습니다. 열심히 공부하고, 다시 한국에 가고 싶습니다. 한국에서 생긴 친구들을 만나고 싶습니다.